



特集
P2-5



若者の「やりたい」を市がサポート 尼崎を変える ユースの活動



PICK UP!

活動する若者と活動を支援する皆さん

P6

令和6(2024)年3月まで無料で接種できます
新型コロナウイルスワクチン接種(秋開始接種)など

P10

令和5(2023)年度上半期(令和5年4月1日~9月30日)
予算の執行状況など

電子版(抜粋版)も配信中!



15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)



特集

尼崎を変えるユースの活動

本市では「子ども・若者応援補助金」をはじめとしたさまざまな施策を通じて、ユース世代の活動をサポートしています。こうした制度を活用しながら「こんな活動がしてみたい」「尼崎市を変えたい」といった思いを形にしている若者たちや若者をサポートする皆さんの声を紹介します

ID 1002108 圏子ども青少年課 ☎6423-9996 FAX 6409-4355

市がサポート
若者の「やりたい」を



VOICE 一緒に食べる楽しさを、 中高生に広げたい。

大学1年生
石原 花梨さん
中高生食堂 おとも



自分たちで料理を作るこ
ともにも意味を感じています。
作り方を覚えることで「家でも
もやってみよう」「今度友達
と一緒に食べよう」といった
アクションにつながってほしい
と思っていますからです。その
ために、できるだけ作りやす
い料理をセレクトしていま
す。

思い、寂しくても我慢してい
ましたが、それが社会問題の
一つだと知り、解決したいと
思ったんです。

現在は奇数月に1回、小田
南生涯学習プラザで開催し
ています。参加者はいろんな
理由で一人で食事を取ってい
る中高生。最初はもちろんみ
んな初対面ですが、呼んでほ
しいニックネームを名札に書
いてもらうなど、話しやすい
雰囲気をつくることで、リ
ピーターになってくれる人
もいます。

「孤食」の中高生たちと一緒に
に食事を作り、食べる場を提
供しています。活動自体は高
校2年生の時に尼崎市のユース
スカウンシル事業「Up to
You!」(5ページ参照)に参
加したことからスタートしま
した。最初はどんな活動をす
るかも決めていなかったのだ
ですが、ユースワーカーと話
すうちに「孤食」というキ
ワードが出てきて、その時に
初めて自分もそうだと気付
きました。それまでは両親の
いない食事が当たり前だと

「How to make」は
主に中高生を対象としたメ
イクアップイベントで、メイ
クを通じて前向きになってほ
しいという思いから始めた活
動です。私や講師の人がメイ
クのやり方を教えたり、参加
者の悩みに合わせたメイクの仕
方を提案したりしています。
私自身、うつ病により文字
が頭に入らないなどで悩ん
でいた時、SNSでメイクに
出会い「こんなに変われるん
だ」と感じた経験がありま
す。そこから部活に入った

り、地域の活動に参加したり
できるようになりました。悩
みを持つ人たちが、メイクを
きっかけに前向きになっ
たり、笑えるようになったり
してほしいと考えています。

ど、活動の幅を広げていま
す。また、子ども・若者応援補
助金を活用することで、外部
の講師への依頼や宣伝用チ
ラシの作成ができるようにな
りました。

VOICE メイクには、 人を前向きにする 力がある。

専門学校1年生
前高 春花さん
How to make



若者の意見を市政に ユースカウンスル「Up to You!」 1023843

「Up to You!」は若者が直面する課題や解決策を、若者が直接本市に提案するプログラム。若者と本市と一緒に取り組むことで、一人ではできないと思っ

たことも変えていくことができます。例年12月にキックオフを実施し、調査や議論を経て8月にプレゼンテーション(報告会)を実施。9月以降は実現に向けた活動を行っていきます。

これまでにヤングケアラー支援やポイ捨て対策、若者のサークル活動支援などが提案されています。



VOICE

尼崎は意見を聞いてくれるまち。あとは若者次第です。

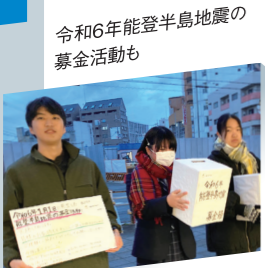
市内でヤングケアラー対策に取り組んだり、スケートボードパークの設置を目指すNPO法人ASKに参加したりとさまざまな活動をしています。近年は市が若者の意見を聞いてくれるということを感じています。

例えば「Up to You!」ではヤングケアラーに関する意見や提案を聞いてくれましたし、ASKの設立もメンバーの一人が市のまちづくり提案箱に投書した「スケートボードパーク

クが欲しい」という短いメッセージがきっかけでした。そこからユース交流センターの職員がスケートボード好きの若者同士をつないでくれて、今のASKがスタートしています。その一方で、肝心の若者や周りの大人たちが「意見を言っても何も変わらない」と思っている節があると思います。若者がもっと活発に活動していくには、意見がちゃんと形になる実績が必要。それがあれば「自分の意見がまちが正しい方向に変わっていくんだ!」と感じられて、活動が活発になっていくのではないかと。そう思っています。

さまざまな実績を作れるように日々活動しています。私自身も高校時代まではこうした活動はしていませんでしたが、大学時代にたまたま参加したボランティアで同センターや「Up to You!」の存在を知ったに過ぎません。こうした偶然が重なって気付いたら今の自分がある、というのが本音です。まずは気軽に同センターに遊びに来てもらって、そこから興味が出て一緒に活動ができたらうれしいですね。

大学3年生
原田 伊織さん
NPO法人ASK 理事
NPO法人ふうせんの会
ASHOKA YVer 47th
全国ユースカウンスル準備会共同発起人
子ども家庭庁子ども家庭審議会委員
基本政策部会委員



令和6年能登半島地震の募金活動も



やりたいをやる 尼崎市立ユース交流センター 1016894

中高生を中心とした若者が交流したり、やってみようを実践したり、悩みを相談したりできる拠点として令和元(2019)年に開設。多くの若者が集い、活動する拠点となっています。「やりたい」の実現に向け、スタッフのサポートも。あなたも利用してみませんか?



ロビーで交流



スタジオでバンド練習



ホールでイベント

VOICE

ユース世代の懐に入り込む支援を、市内全域へ。

あま女将ラボ コミュニティナーズ
福田 祥子さん
あまがさきユース保健室



コミュニティナーズとして活動する福田さん(中央)、高井さん(右)、ユース保健室を共同で立ち上げた日吉教授(左)

あま女将ラボは「コミュニティナーズの育成・拠点づくりを行う任意団体です。コミュニティナーズとは、病院ではなく地域の中で「毎日のうれしいや楽しい」を一緒に作る存在です。例えば、あま女将ラボのコミュニティナーズは看護師でありながら食堂やカフェを経営している、お客さんの相談に乗ったり、医療機関へつなげたりしています。

活動の中でも、もっとユース世代が気軽に相談できる場所をつくりたいという思いから、子ども・若者応援補助金に応募し、ユースクリニックの研究が専門の日吉和子教授(太成学院大学)と共同で「あまがさきユース保健室」を始めました。同保健室はユース交流センター内で週1回実施しており、同センターに来るユース世代から、家庭の問題や進路の悩みなど、健康に限らないさまざまな相談を受けています。大切にしているのは、若者たちに信頼されること。大人に対してあまりいい印象を持っていない人も多く、信頼関係がなければ深い悩

みを相談してくれることはないからです。「この人なら大丈夫」と思ってもらうために、自分から話し掛けてみたり、一緒にバレーボールで遊んでみたり、あえて崩したファッションをしてみるようなコミュニケーションを心掛けています。1月にはあまがさきキューズモールに2カ所目の拠点が誕生しました。今後も同保健室の拠点を増やし、複数の拠点を持つことで、市全体に支援の輪を広げていきたいです。

あなたも活用してみませんか?

子ども・若者応援補助金 1033508

子ども・若者応援基金を活用した補助事業を募集。皆さんの「やってみよう!」を応援しています

01

ユース活動支援コース

補助対象 | 若者個人や若者グループが企画する活動
補助金額 | 上限10万円
採択数 | 15グループ程度
補助事業テーマ | 若者の交流の場づくり、SDGs、環境問題など

02

子ども・若者育成支援コース

補助対象 | 子ども・若者の育成支援に取り組む団体やグループの活動
補助金額 | 上限10万円
採択数 | 20団体程度
補助事業テーマ | 子ども食堂、居場所カフェ、ひきこもりの子ども・若者支援など

03

パイロット事業コース

補助対象 | 子ども・若者のさまざまな課題の解決に向けた先駆的・試行的な活動。同一事業への補助期間は原則3年まで
補助金額 | 上限50万円
採択数 | 3団体程度
補助事業テーマ | ネット依存症対策、子どもの意見表明の機会の確保など

今年度のスケジュール(参考)

4月~5月 申込期間
7月上旬 プレゼンテーション審査
7月中旬 結果通知の受け取り・補助金請求書の提出
8月 補助金の受け取り
3月 成果発表会

次年度の補助事業は、4月以降に募集予定